

学苑



第9回旭祭



第44回鳩山祭



オンラインによるインターンシップガイダンスの様子

vol.157
特集!

就職状況とキャリア支援

TDUトピックス

学生相談室の利用について ~コロナ禍でのストレスケア~

第9回旭祭・第44回鳩山祭

後援会トピックス

クラブ活動／オンラインでの活動について

深秋の候、後援会会員の皆様には平素より後援会活動に対し深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で事業活動が大きく制限された中、各種事業の中止・または内容を改定しながら運営しております。ここにその主な活動状況をご報告させていただきます。



後援会長
黒沢 秀徳

日頃より後援会活動にご理解、ご支援をいただき、ありがとうございます。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、さまざまな社会活動が自粛され、世界の経済活動が大きく後退しております。一部改善をしてきた面もございますが、収入面や健康面でご心配されている方も沢山いらっしゃるかと存じます。

後援会に関しましては、この新型コロナウイルス感染症のような不測の状況下であっても、諸事業が滞りなく円滑に実施できるよう、東京電機大学後援会会則の一部を改訂いたしました。常任評議員会が思い通りに開催できない状況ではありますが、大学教職員の皆様と連携を密に取り合っ活動を行っております。

さて、後援会活動は大きく分けて、「父母懇談会開催事業」、「広報事業」、「学生支援事業」の三大事業から構成されております。

まず、後援会活動の主要イベントであります父母懇談会開催事業は、対面での実施を中止といたしました。毎年または初めてのご出席を楽しみにされていた保証人の皆様には大変残念な結果となってしまいました。なお、保証人の皆様には東京電機大学後援会より「2020年度父母懇談会全体説明会資料」を送付しております。平年会場にてご説明しております内容を全て網羅しております。後援会活動報告・大学の現状・大学院の紹介・就職状況など50ページに及ぶ資料となっております。とても充実した内容ですのでぜひご一読ください。また、当日に個人面談をご希望されていた保証人の皆様には、後援会事務局をはじめ該当部署より個別に電話対応しております。

次に、広報活動としては、本誌「学苑」の発行のほかに、メールマガジンの配信や「父母のた

めの東京電機大学ガイド」の発行を行っております。メールマガジンの登録方法は本誌「学苑」の裏表紙等に毎回掲載されており、パソコンや携帯電話から比較的容易に登録できます。

最後に、学生支援活動としては、食生活改善支援、学生のイベント参加やクラブ活動等の支援、キャリア・就職支援等、様々な支援活動を行っております。新型コロナウイルスの感染拡大の為、合同体育祭をはじめイベントが中止となり、イベント支援予算を学内環境整備等補助へ転用いたしました。授業の殆どがリモートにて行われておりますが、実験や卒業研究は大学でないと行えません。構内での感染防止用の消毒液やフェースシールド、事務窓口のアクリルスタンド等を購入し、大学が再開した際に学生に安心して利用してもらえるよう学内環境整備を実施しました。さらに、毎年継続している「こころとからだのサポート24」への支援や、2012年度から大学において実施されている「仲間づくり支援イベント」への支援があります。「こころとからだのサポート24」は、学生のみならず、ご父母・保証人も、24時間いつでも無料で、「こころ」と「からだ」に関することはどんなことでも電話で相談できます。プライバシーは厳守されます。何か気がかりなことがありましたら、些細なことでも構いませので、ぜひご活用いただければと思います。

後援会活動は、学生一人一人のかけがえのない学生生活が少しでも有意義なものとなるよう、ご父母・保証人と大学教職員が一丸となって学生を支援する活動です。皆様方のお声を反映させて、より良い活動に繋げていくことができると考えております。今後ともご理解とご協力をいただきたく、重ねてお願い申し上げます。

後援会活動のお知らせ

常任評議員会と父母懇談会についてご報告いたします

第2回、第3回常任評議員会の開催報告

7月4日(土)と、9月5日(土)に東京千住キャンパスにて、後援会第2回常任評議員会、第3回常任評議員会を開催しました。主に、第2回常任評議員会では、2020年度の父母懇談会の開催方法の検討、第3回常任評議員会では、学生支援活動補助の配分について、審議しました。今後は11月、1月に常任評議員会を開催し、次年度に向けて、父母懇談会開催事業、広報事業、学生支援事業について話し合っていく予定です。



「2020年度 父母懇談会全体説明会資料」を 発送しました

先般お伝えしておりますとおり、2020年度父母懇談会について、開催の準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、ご父母の皆様の健康と安全面を第一に考慮し、止む無くキャンパス会場・地方会場共に、来場形式の父母懇談会開催を取りやめさせていただきました。

それに伴い9月中旬に、「2020年度 父母懇談会全体説明会資料」を全保証人様へ発送いたしました。毎年父母懇談会の全体説明会でご説明している内容を掲載しておりますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。



後援会活動のお知らせ



※学部長からのメッセージは10月にいただいたものです。

工学部



工学部長
吉田 俊哉

現在、実験・実習は一部登校で、座学講義については遠隔主体で実施しております。本学の遠隔講義は比較的よい評価をいただいておりますが、学生の皆さんには平時とは程遠い学生生活を強いる結果となっており、大変申し訳なく思っております。ご家族のご理解およびサポートに感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、早ければ11月中には座学の対面講義を分散登校にて再開する予定です。実験・実習や研究活動を含め

ると平時の2分の1程度の方に登校していただくこととなります。しかしコロナ禍が去ったわけではありません。手洗い・手消毒・マスク着用を励行する、食事は距離を保ち対面せずに黙って摂る、会話時は距離を保ち正面で向かわない、講義終了後は寄り道せず帰宅するなどの基本的な感染防止策を、再度ご子女とご確認いただきたくお願いいたします。

対面講義の再開により平時に一步近づくこととなります。しかしアフターコロナでは、以前の状態に戻ればよい、と言うわけにはいかないようです。大学も含め、新しい世界に対応できない組織、仕組み、仕事、物には高い淘汰圧が加わっております。同時に、期せずして進化しやすい環境になったとも言えます。学生の皆さんには、これをチャンスと捉えていただきたいと願っております。本学もこの機を生かします。引き続き、ご子女ならびに本学へのご支援をお願いいたします。

理工学部



理工学部長
川井 悟

在学生のみなさんには、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環としての遠隔授業に対して、大きな負担をおかけしておりますが、みなさんのご協力のおかげで、2020年度前期を終了し、9月19日より後期を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

今後も新型コロナウイルス感染にともなう社会情勢の変化に応じ、随時の対応が求められます。理工学部においても迅速な情報提供を心がけて参りますので、在学生のみなさんにも引き続きご協

力をお願いいたします。

講義科目においてはオンライン授業を継続しておりますが、実験・実習科目においてはオンライン授業を中心に、一部の実験・実習科目は感染防止に留意して対面で実施しているところであり、各科目で課される課題等への対応に加え、友人たちと気軽に会うことができないことなどから、在学生のみなさんは心身のストレスや疲れが重なっているのではないかと察しております。心身のストレスを抱えるようなことがありましたら、遠慮なく学生相談室に相談してください。

このような事態下における在学生のみなさんのご苦勞は、必ずやさまざまな能力の獲得につながり、みなさんを明るい将来へ導くものと確信しております。これからも従来と変わらず、教職員が丸となり、みなさんに寄り添いながらサポートして参りますので、ともにこの難局に立ち向かい、乗り越えていきましょう。

末筆ではございますが、ご父母、ご家族のみなさまにおかれましても、ご理解とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

未来科学部



未来科学部長
石川 潤

平素から本学の教育研究活動に関しまして、ご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。コロナ禍で、前期は、開始を1か月遅らせて授業をオンラインに切り替え、オンライン配信のための整備や、オンラインに適した教育内容の改善に、教職員一同、日々、一丸となって努力してまいりました。不慣れな状況の中で、ご迷惑をおかけいたしました。ご学生の皆様にも授業の円滑な進行にご協力をいただきながら、教育の質を落とさないように進めてまいりました。この時期に新型コロナウイルス感染が爆発的に拡大しなかった理由のひとつは、日本では、大学生が外に出たいという気持ちを抑えてステイホームしてくれたからだと言われています。初めてのオンライン授業で不安な気

持ちを抱え、登校して友人や教職員に相談したい気持ちでいっぱいの中、一人パソコンの画面に向かって頑張り、授業履修を成し遂げたご学生の皆様の努力に、とても感謝しております。また、その頑張りが実現できたのは、ご家庭でのご父母の皆様からの多大なるご支援があったからこそでございます。

実学尊重を掲げる本学としては、やはりご学生の皆様と、教員との対面での実験・実習の指導や授業教授は欠かせないものであり、安全に配慮しながらウィズコロナ、アフターコロナを見据えて、前期の後半、あるいは後期から、実験・実習科目の一部対面実施を再開しました。久しぶりに友人と再会し、あるいは1年生は初めて友人と会い、マスク越しにでもわかる笑顔で楽しそうに実験に取り組んでいる姿を見ると、あらためて大学教育のあるべき姿に気づかされました。そして、その気持ちに励まされながら、安全なキャンパスライフの再開に向けて、我々も全力で取り組んでおります。研究室での指導も、卒業論文や修士論文の追い込みの時期を迎え、3密回避にも注意しながら登校できる人数を増やし、研究出張なども再開いたしました。

後期の途中からは座学も対面授業への段階的な復帰を目指しており、この冊子が皆様のお手元に届くころには、新時代の安全な、そして、より活気に満ちたキャンパスライフが戻ってくることを予感させる状態になっていると思います。最後に、我々の感謝の気持ちをご学生の皆様にお伝えいただくとともに、引き続きのご支援、励ましをお願いいたします。

情報環境学部



情報環境学部長
和田 雄次

ご父母の皆様へのメッセージを送らせていただきます。

まず、授業の科目ですが、情報環境学部は既に新入生の募集を停止していますので、本学部独自に開講する科目は少しずつ減少してはおります。しかしながら、講義内容が類似している他学部科目を履修する形を採っていますので、オンラインによる履修計画作成と学修が可能となっております。

次に、卒業後の進路指導ですが、就職や大学院進学に関する相談も学生支援センターと連携しながら、オ

ンラインでの面談を推進しております。

さて、ご学生の自宅での学修環境ですが、パソコンとインターネットの利用が必須でございます。特に、授業のライブ動画や教材などはインターネット経由で配信され、ご学生からのレポート提出などもインターネット経由となります。従いまして、長時間に渡りパソコンを利用することが増えていますが、何卒ご理解の程、よろしく申し上げます。加えて、そうした教材を有効活用して、授業の理解度を深めるためには、高速なインターネット回線が必要となる点もご理解をいただきたいと存じます。

一方、我々教員はご父母の皆様とのコミュニケーションを深めることにより、ご学生が卒業されて、社会に巣立っていかれるよう祈願しております。そのためには、ご父母と大学との連携が何よりも重要と考えております。

最後になりますが、遠隔授業がしばらく続くかとは思われます。しかしながら、これからの社会はテレワークが一段と普及していくと予想されますので、今回の経験を将来の糧にさせていただけるよう、ご学生を日々励ましていただけると幸いです。

システムデザイン工学部



システムデザイン工学部長
齊藤 剛

東京電機大学後援会会員の皆様、日頃から様々な面でご支援いただき大変感謝しております。ありがとうございます。

本年度当初から、新型コロナウイルス感染症り患防護および感染拡大防止の観点から、キャンパス入構禁止措置をとり、ご子女の登校を自粛いただき、講義等は全面的にネットワークを用いた遠隔講義で実施してまいりました。これまでと、まったく異なった講義等の実施であるため、教員も不慣れであり、また、受講する学生も戸惑いもあったと思います。

遠隔講義は、「時間割通り」に実施しました。これにより、規則的な学修が実現できた反面、ご自宅では、ご家族の方々が窮屈な思いをされたことと思います。皆様方のご協力があったからこそ、ここまでやってこられたと考え、感謝いたします。

登校できないが故に、友人との交友も制限され、また、1年生にあつては、長い間、入学したにも関わらずキャンパスに足を踏み入れることさえもできなかったため、同じ1年生同士で一度も顔をあわせることもなく友人作りについて不安の声も多く届いていました。

新型コロナウイルスの状況は、決して予断できる状態にはありませんが、慎重に検討を重ね、大学として万全の対策を施し、11月から対面講義を実施することとなりました。アフターコロナとして新しい形での学生生活のスタートが目前です。これまでの失われた時間を取り戻し、これからは充実した学生生活を送れることと確信しておりますし、教職員全員その実現に向けて努力いたします。最後となりますが、これまでの皆様のご理解に感謝いたします。今後とも、さらなるご支援をよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止についてのお願い

後期授業が開始となり、オンライン・登校形式を併用して授業を実施しています。新型コロナウイルス感染症への対策として、以下の点にご注意いただき、発熱、倦怠感等の症状がある場合には登校せずに、速やかに各キャンパスの健康相談室に連絡するとともに医療機関を受診してください。

また、新型コロナウイルス感染症と診断された場合及び新型コロナウイルス感染者と濃厚接触したと特定された場合(PCR検査を実施する場合を含む)は、必ず各所属キャンパスの健康相談室へ連絡をお願いいたします。(個人情報の取り扱いについては、学内の関係部署で適切に管理いたします)

1. 日頃の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

- 食事、睡眠を十分にとり規則正しい生活を心がける
- うがい、手洗いの慣行とマスクの着用
- できる限り他者との接触、会話を避ける
- 他者と接触しなければならない場合は距離をあける
- 不要不急の外出を避ける

2. 登校時の注意点

- 登校前には自宅で必ず体温を検温し、発熱の症状や倦怠感がある場合には登校せずに、速やかに各キャンパスの健康相談室に連絡するとともに医療機関を受診する
- 入館時には設置された消毒液で手指消毒を行う
- 校舎内設置のゲート(埼玉鳩山キャンパスにおいてはタブレット端末)には必ず学生証をかざす
- 退館後は寄り道をせずに自宅に帰宅する

3. 新型コロナウイルス感染症と診断された場合及び濃厚接触者と特定された場合の連絡先(PCR検査を実施する場合を含む)

- **東京千住キャンパス** 健康相談室 TEL:03-5284-5350
- **埼玉鳩山キャンパス** 健康相談室 TEL:049-296-0498

4. 職員不在の夜間や休日の相談窓口

- **東京都** 東京都発熱相談センター TEL:03-5320-4592 [24時間(土日・祝日含む)]
- **埼玉県** 埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター TEL:0570-783-770 [24時間(土日・祝日含む)]
- **各都道府県** 新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談センター(下記、厚生労働省 URL 参照)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyassessyokusya.html

オンライン課外活動の概要

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月からキャンパス閉鎖措置と登校禁止措置が大学全体として決定し、授業は5月のゴールデンウィーク明けからオンライン形式で開始されました。

課外活動についても、上記措置に加え、政府や東京都から緊急事態宣言が発出されたことに伴い、学内・学外において対面でのすべての活動(練習・発表・試合など)を禁止としました。

このような状況が続く中、オンライン授業に慣れた6月から、自粛生活が続く、肉体的にも精神的にも疲弊している学生各位が、学友と交流して気分転換や息抜きとなるため、オンラインでの新入生へのクラブ紹介とクラブ勧誘を開始しました。

各学生団体は、初めての状況に戸惑い苦戦しながらも、オンラインでできる活動を模索し、無理のない範囲で徐々に活動を開始していきました。

オンライン課外活動の内容は、

- ① 新入生向けのオンラインでの学生団体の説明・紹介
- ② 新入生のオンラインでの入部体験
- ③ 在学生においては、Web会議ツール(Zoom)やLINEを用いた部内ミーティング

などを行っています。

さまざまな制限・制約がある中でも、学生生活をより充実したものにするため、忙しい授業やレポートの合間をぬって、各学生団体の部員一人ひとりが自主的に考え、協力しながら活動を続けています。

学生厚生担当においては、学生団体の意志や、やり方を尊重し、サポートを続けています。

新入生向けオンラインクラブ紹介について

それぞれの学生団体が、新入生向けにパワーポイントや動画を作成して、クラブの魅力や活動内容等の情報を新入生にわかりやすく紹介しております。

また、Zoomのチャット機能を使用し新入生からの質問を受け付けて、課外活動にとどまらず、学生生活を送るうえでの不安や疑問を回答していた活動もありました。

学生同士でないと聞けない事項もあるようで、新入生にとっても在学生にとっても有意義なものであると感じ、職員としても上級生の成長を感じることができ、頼もしく感じました。

アクセス方法

新入生に対するクラブ紹介・クラブ勧誘に関する各団体のパワーポイント資料や動画は、本学関係者(学生・教職員)のみがアクセス可能なクラウドサービス(Box)を用いて、いつでも閲覧可能な状態としております。(下記、写真参照)

その他、クラブインフォメーション2020や各学生団体が作成・公開しているホームページは、本学ホームページで閲覧することが可能になっております。

東京千住キャンパス事務部(学生厚生担当)
理工学部事務部(学生厚生担当)



クラウドサービス(Box)でのオンラインクラブ紹介の様子 東京千住キャンパス(左)、埼玉鳩山キャンパス(右)

コロナ禍での ストレスケア

新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な影響を受けた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回のパンデミックは、私たちの日常を一変させました。

本学もその例外ではなく、前期は全ての授業がオンライン化され、学生達の活気で満ちていたキャンパス内も、かつての賑わいを失いました。後期に入ってから徐々に制限が緩和されつつありますが、感染拡大の予防対策を講じなければならないことを考慮すると、以前の日常に戻るまでにはまだ時間がかかりそうです。

保護者の皆様も、これまでとは全く異なる環境下で大学生活を送ってられるご子女の心身の変化や状態について、ご心配やご懸念を抱えていらっしゃるのではないのでしょうか。

ストレスは自分にとっての大切なサイン

最近では、コロナストレスという言葉を見聞きするようになりました。実際、感染リスクといった脅威に加え、抑制的な生活環境の変化といったストレス状況に半年以上も晒されているわけですから、当然様々なストレス反応が生じやすい状況にあるといえます。経験されるストレス反応は人によって様々ですが、例えば「憂うつ感」「無気力」「イライラする」といった精神的反応を経験される方もいれば、「肩がやけに凝る」「頭痛がひどい」「睡眠に問題がある」といった身体的反応を経験される方もおられます。また、人が恐怖や不安を感じる状況とは、未来の予測がつきにくい時(予測不可能性)とそれに対してどのように対処したら良いかが分からない時(対処不可能性)だといわれています。

新型コロナウイルスの正体が徐々に明らかに

されつつあるとはいえ、仮に感染した後の症状が予測できない状況で、確立された治療法がない現在では、周囲に対しても敏感になりやすく、恐怖や不安が増幅するのは無理もない自然な反応ともいえます。ただし、これらのストレス反応は、自分にとっての何かしらの危機を知らせてくれる大切なサインであることがほとんどです。

バランスよくストレスへ対処

ストレスへの対処法には、大きく2つのタイプが知られています。

前者は、ストレス状況に働きかけ、問題解決のために積極的に行動する問題解決タイプです。原因の在りかを明確にする、問題解決の計画を立て実行する、その問題に詳しい専門家に相談する等です。また、頭の中にある空想ではなく、現実に行き起きていることに注意を向けることも大切です。後者は、ストレス状況によってもたらさ

学生相談室の利用について

開室日 月曜から金曜までの授業のある日に開室します。土日は休みです。

開室時間 曜日により異なります。現在待機人数を減らしている関係上、通常より短時間です。
(次ページ参照)

相談体制 ● Zoom相談 ● 電話相談 ● メール相談

※対面相談は、現在は実施しておりません。今後、状況の変化に応じて開始を検討します。

相談予約 本文に下記事項記入の上、メールでお申し込みください。

①学年 ②学籍番号 ③氏名

※電話での問い合わせ・予約は開室時間内のみ可能です。カウンセリング中などで応答できない場合もあるのでご了承ください。

●相談までの流れ

申し込みメール受信後、こちらから相談の必要事項を記入した返信をお送りします。ご希望の日時やご希望の相談方法をお伝えください。どんな相談方法が良いかわからない場合は、カウンセラーと一緒に決めていくのでご安心ください。その他不明な点は遠慮なくお尋ねください。

●利用できる方

学生・教職員・保護者(教職員・保護者は学生対応に関するご相談に限ります)その他ご連絡の際は、理工学部と工学部の相談室を間違えないよう、アドレス・電話番号等ご確認ください。

詳しい内容は次ページ(P9)の各キャンパス学生相談室 利用案内をご覧ください

れた不快な気分を紛らわせ、精神的安定を保とうとする気分調整タイプです。趣味やスポーツでの気分転換、美味しい物を食べる、その状況のプラスの面に目を向ける等です。吸うより吐く息を長めに行うゆったりとした呼吸法も心身のリラククスには有効です。

ポイントは、一つの方法にこだわるのではなく、バランスよく色々な方法を柔軟に取り入れていくことです。

学生相談室を有効利用

まずは、上記の対処法の中で、どのような方法をよく用いているか、他に使えるような方法はないかをご家族で話し合ってみられることをお勧めいたします。また、支えとなる身近なご家族に励まされ、安心感が得られることで、逆境を乗り越える力であるレジリエンスが育まれます。それでも、ご子女の様子をご心配で、どのように関わればよいか分からないという状況もあ

るかもしれません。そのような時には、ご子女に学生相談室の利用をぜひお勧めいただきたいと思います。現在、学生相談室では、Zoomを用いたカウンセリングを行っております。ここ最近は、前期に一人で悶々と悩んでいた学生からの相談申込が増えております。特に、「友達ができないから、大学生活の意味が見出せない」「家に居る時間が増えたことで、家族との関係が悪化した」といった人間関係にまつわるご相談や、「PCの前に座る日々で辛い」「課題が多くて、こなすのが大変」といったオンライン授業に伴うご相談が多く寄せられています。

コロナ禍では社会的なつながりを維持することが大切だといわれています。お困りの際には、社会的つながりのひとつとして、学生相談室を思い出していただけますと幸いです。

東京千住キャンパス学生相談室
金築 智美

各キャンパス学生相談室 利用案内

※相談は予約制となっております。

※10月下旬の開室時間です。予約をされる際は、改めて開室時間のご確認をお願いいたします。

東京千住キャンパス【2号館3階20308A室】



03-5284-5346(直通)



ko-gakuso@cck.dendai.ac.jp

曜日	時間	担当カウンセラー
月曜日	9:30 ~ 18:00	勝倉りえこ 高橋拓己
火曜日		小林美登 勝倉りえこ 中村久美
水曜日		小林美登 田中千穂
木曜日		前田綾子 金築智美 中村久美
金曜日		前田綾子 高橋拓己 今野紀子

※東京千住キャンパスは全てZoomでの対応となります。

埼玉鳩山キャンパス【本館(10号館)1階116室】



049-296-3794(直通)



ri-gakuso@jim.dendai.ac.jp

曜日	時間	担当カウンセラー
月曜日	11:00 ~ 15:00	大本良子 電話 Zoom
	12:00 ~ 16:00	近藤奈奈子 Zoom
火曜日	13:00 ~ 15:30	大本良子 電話 Zoom
	18:20 ~ 19:30	山口正二 Zoom
水曜日	11:00 ~ 16:30	大本良子 Zoom
	13:00 ~ 17:00	野島美穂 電話 Zoom
木曜日	12:00 ~ 16:00	近藤奈奈子 電話 Zoom
金曜日	11:00 ~ 15:00	大本良子 電話 Zoom
	12:00 ~ 16:00	近藤奈奈子 Zoom

日頃は健康相談室業務にご支援いただきましてありがとうございます。今回は後援会予算で購入・補助をしていただき大変助かっているものについてご紹介させていただきます。

【AED(自動体外式除細動器)】

「AEDはキャンパスに1台しかないのですか?」という保証人の方の一言がきっかけとなり、充実したAED設置が実現しました。現在は東京千住キャンパスに9台(うち4台が後援会からのご寄付)、鳩山キャンパスに5台(うち3台が後援会からのご寄付)が設置されています。ご寄付いただいたAED本体は機体寿命となり、リースになったものの、AED本体と共にご寄付いただいた警報機付きの収納ケースは管理継続し使用しています。



【新型コロナウイルス感染症対策のための体温計・消毒液等】

オンライン授業が中心ではありますが、卒業研究や一部の実験・実習科目講義を対面で行っています。9月～11月には健康診断を実施し、その際に使用した非接触型の体温計や消毒液は後援会費から補助していただきました。



消毒液



埼玉鳩山キャンパスでの健康診断の様子(ソーシャルディスタンスを保ち実施)

【こころとからだのサポート24】

「こころとからだのサポート24」は学生だけでなく、ご家族の心身の健康相談も出来るサービスです。以前から補助いただき大変助かっております。皆さまぜひご利用ください。

※詳細は本誌P18をご覧ください。

オンライン学園祭

2020.10.31 SAT 11.1 SUN

「CUBE」



第9回 旭祭

実行委員会委員長 新開 翔太

第二部実行委員会委員長 豊田 達也

このたびは後援会の皆様に、学園祭をご支援いただき、誠にありがとうございました。

今年の旭祭はコロナ禍という事もあり毎年のように大学内で開催することが出来ませんでした。しかし、この状況だからこそできるオンラインという形をとり、10月31日(土)、11月1日(日)に第9回オンライン学園祭旭祭を開催いたしました。今年の旭祭のテーマは「CUBE」であり、9ということでCUBEもあるのですが、他にも「色々な面(物)を組み合わせると一つの大きなものを作っていく」という意味を込めてこのようなテーマといたしました。

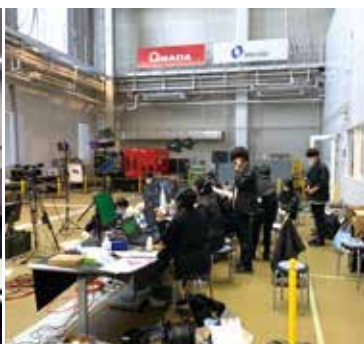
本祭1日目のeスポーツ大会ではタレントやモデル、声優、グラビアアイドルなど多方面で活躍されている上田操さんに出演いただき、盛り上げていただきました。さらに学生MCが中心となって各学生団体やサークルの紹介動画、発表動画など面白くて、興味の湧くようなコンテンツで旭祭1日目を無事に盛り上げる事が出来ました。

本祭2日目は、大きなイベントであるトークショーがあり、声優の富田美憂さん、前田佳織里さんにお越しいただき、最大視聴者数約1,100人という大きな反響がありました。

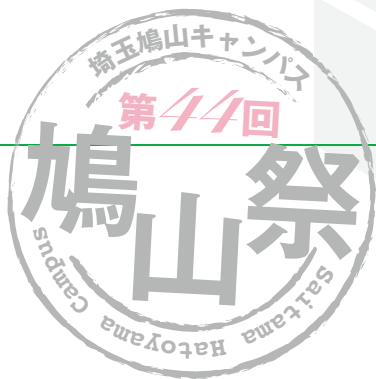
ロケ企画においても千住地域の美味しいお店を紹介させていただきました。これを機に視聴者の皆様にもぜひ足を運んでいただきたいと思います。

今年の旭祭はオンラインということで我々も初の試みであったので、いろいろとわからないことが多くとても苦労しました。しかし、大学関係者の皆様のバックアップのもと、放送委員会さん、Cwaveさん、GEKIRINさん、WAN55さんなど、皆様のおかげで無事今年も旭祭を終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

来年度以降も、地域の方々や大学関係者の皆様のご協力のもと、更なる発展と向上を目指していきますので、今後とも旭祭へのご支援をよろしくお願いいたします。



例年、東京千住キャンパスでは「旭祭」、埼玉鳩山キャンパスでは「鳩山祭」を開催しておりますが、感染症拡大防止の観点から、「旭祭」「鳩山祭」を合同で、史上初のオンライン開催に挑戦しました。



第44回 鳩山祭

実行委員会委員長 野田 拓海

まず初めに、後援会の皆様、この大変なご時世の中、鳩山祭のためご支援をいただきましたこと、心より感謝いたします。

今年の鳩山祭は11月1日(日)の1日での開催となりました。今年はオンライン学園祭という、イレギュラーな形式での開催となり、成功させることができるだろうかという不安もありましたが、旭祭実行委員会の方々とも協力し合い、無事に成功させることができました。

今年の鳩山祭のテーマは「挑戦者たれ」でした。このテーマは、オンラインでの開催が決まってから急遽決めました。はじめてやる形式の学園祭でも、みんなで挑戦者として力を合わせていこう、という思いでこのテーマにしました。

今年度は、毎年やっていた「ファイヤーダンス」は行えず、主なイベントは「お笑い芸人ライブ」のみとなりました。しかし、実行委員会全体が「お笑い芸人ライブ」を成功させようと奮起し、大盛り上がりのイベントとなりました。

その他にも、前で述べたように旭祭実行委員会の方々との連携にも力を入れました。毎週zoomを使ったオンライン会議を行い、より良いものになろうと意見を出し合い、互いに助け合いながら、学園祭の成功を目指しました。

今年は、鳩山祭実行委員会の中だけでなく、旭祭実行委員会の方々ともいい関係を築けたと感じています。今年で実行委員会を卒業する委員は、例年通りの開催ではなかったため、悔しい気持ちもあると思いますが、それらを含めこれまでの実行委員会での経験をいかし、これからもそれぞれの路で頑張っていきます。

次年度の鳩山祭は、対面での開催か、オンラインでの開催か、決まっていません。ですが、実行委員会に残った後輩たちは、次年度も学園祭を成功させようと奮起してくれることでしょう。対面での開催、オンラインでの開催、どちらになっても素晴らしい学園祭になると確信しています。次年度の鳩山祭にも、ぜひお越しください。



奨学金制度のお知らせ

東京電機大学では下表に示すように9種類の大学独自の奨学金制度があり、修学支援に力を入れています。さらに「日本学生支援機構奨学金」や各種団体による奨学金を含めると、学部生と大学院生を合わせて、4,000名を超える学生が奨学金を利用して学生生活を送っています。

奨学金に関するお問い合わせは、各キャンパス(学生厚生担当)まで、ご連絡をお願いします。

名称	資格	募集時期	採用時期	金額	返還	2019年度採用実績
特別奨学金 (給付)	学部2～4年次、大学院博士課程に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	5月	7月下旬頃	学部 280,000円 博士課程 531,333円	—	学部24名 大学院(博士) 28名
大学院進学特別奨学金 (給付)	本学大学院修士課程への進学促進のための経済的支援策(経済的に修学困難な学生への支援策)として学内推薦入試で合格した本学学部生のうち、成績ならびに人物が優秀な者。	9～10月	1月	年間授業料相当額 (大学院初年次のみ)	—	学部20名
学生急急奨学金 (給付)	学部在学中、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	1年以内に家計急変があり学費支弁が困難な者で、他奨学金の貸与状況・家計急変状況・学費延納状況等から総合的に判断し、本奨学金の趣旨に相応しい人物を採用。定期募集は行わない。		50万円の範囲内で決定	—	学部0名
学生サポート給付奨学金 (給付)	学部在学中、過去1年以内に家計に急変があり、修学意欲がありながら学費支弁困難であり、大学が主催する学生行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる者。	5月と9月の年 2回	7月下旬・ 11月下旬	学部 250,000円	—	5名
東京電機大学 深井綾女性研究者・技術者 育成特別奨学金 (給付)	大学院に在籍し、本奨学金の趣旨を理解している者で、大学行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる女性学生。	5月	7月	100,000円 ただし、工学研究科 (社会人コース)に在籍 者は66,000円	—	56名
学生救済奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、保証人(家計支持者)の経済的な理由で学費の支払いが困難な学生。貸与は在学期間中1回に限る。	4月と9月の年 2回	6月下旬・ 11月下旬	該当学期(セメスター) 分の学費相当額。 奨学金は学費に充当 する。	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	学部10名 大学院2名
学生支援奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、本学主催の海外英語研修への参加および高額な教育装置の購入など自己資質向上を目的とする学生。貸与は在学期間中1回に限る。	随時		30万円の範囲 で査定	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	学部9名 大学院1名
大学院貸与奨学金 (貸与)	大学院に在学し、人物優秀にして学業成績が良好、かつ学費支弁が困難な者。	4月と9月の 年2回	6月下旬・ 11月下旬	該当学期の 学費相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	3名
校友会奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、家庭の経済的事情の急変により学業継続が困難な学生(主に卒業年次生対象)。貸与は在学期間中1回に限る。	随時。但し、学費に充当するため、学費納入期限以前の応募が望ましい。		1回に納入する学費等の 相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	学部3名 大学院0名
日本学生支援機構奨学金 (貸与)	国が実施する貸与型の奨学金。第一種(無利子)と第二種(有利子)がある。	定期採用 4月	7月上旬	奨学金の種類等により 月額2万円～12万円 (学部)	卒業7か月後から 機構が定める 金額、期間で割 賦返済。	在学生の 約40%が利用
日本学生支援機構奨学金 (給付)	国が実施する給付型の奨学金。学部生のみ。	定期採用 4月	7月上旬	経済基準及び通学形 態等により 月額 12,800 円 ～ 75,800円	—	学部 約500名
各種団体による奨学金 (給付・貸与)	地方公共団体や、各種民間育英奨学団体の募集が数多くあり、毎年30名程度が利用。					

※今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前期の募集時期・採用時期が一部変更となりました。

特集

東京電機大学

就職キャリア支援

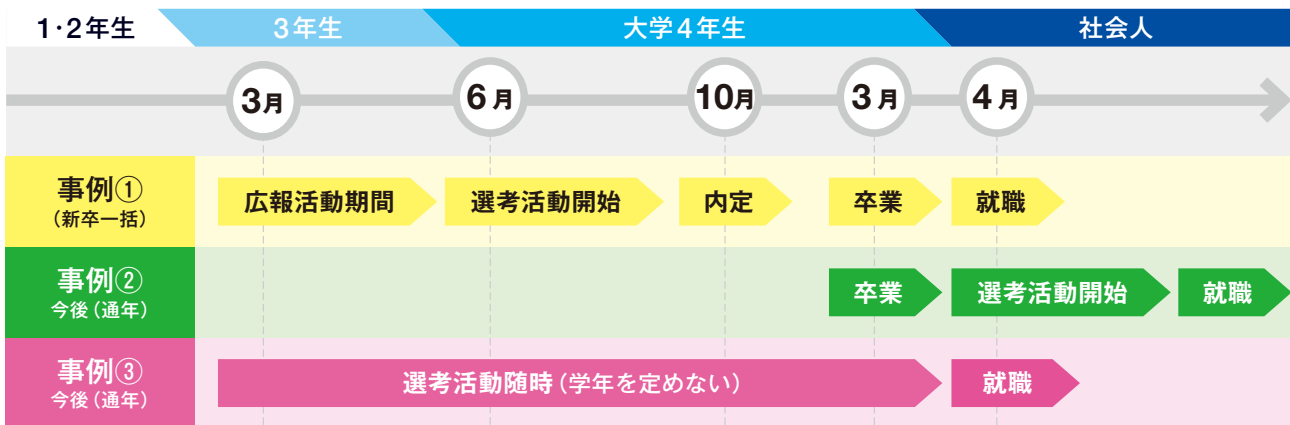
～一人ひとりに合わせたキャリアデザインをサポート～

■採用選考スケジュール（新卒一括採用から通年採用に移行）

日本経済団体連合会（以下、経団連）は現在の採用選考を見直し、2022年3月卒業生から順次、新卒一括採用方式から通年採用に移行すると発表しました。この決定により、経団連は、今まで広報活動開始を3月1日以降、選考活動開始を6月1日以降としていましたが、このルールが廃止され企業の考えに基づいた選考が行われます。

このスケジュールが廃止されることにより、留学中の学生が不利になるといった問題点が解消されるなど、多様性をもとめる企業とスケジュールにとらわれずに学びを深めたいと考えている学生が活動しやすくなります。しかし、一方では、就活がますます早期化される懸念もありますので、文部科学省は今まで通りの採用スケジュールを継続する指針を各企業、大学へ通達しています。本学では学業の成果を重視した企業との連携を強固にしていながら、適切な活動ができる指導を行っていきます。

採用選考スケジュール



■キャリア・就職支援活動について

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ガイダンスやセミナーはすべてオンラインで開催しています。すでに3年生に対する実践的な就職ガイダンスを開始しています。具体的には、採用選考に必要な自己PRの方法、履歴書作成、グループ面接対策、個人面接対策、SPI模擬試験、さらには先輩内定者の経験談を聞くなどのガイダンスを順次開催します。また、学生個々の疑問や不安解消などの相談ではオンラインを利用して、キャリアアドバイザーやジョブ・サポーター、就職担当の教職員が連携しながら対応しています。

また、11月から開始する「業界研究セミナー」では100社以上の企業と交流を持ち理解を深めることができます。



■卒業生との交流「仕事研究セミナー」をオンラインで開催

後援会よりご支援いただいております「卒業生による仕事研究セミナー」は、例年ホテルグランドパレス（東京・九段下）で2月に開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度については1月下旬の3日間を利用してオンラインで開催いたします。オンライン開催の優位性を利用して、参加企業数300社（前年比120%）を予定しています。このセミナーの特徴は、本学卒業生が人事担当者と共に参加することで学生がOB・OG訪問をする気軽さで質問や相談がことです。オンラインを利用することで、遠方の卒業生も参加が可能になり、学生は、今まで会うことのできなかった卒業生との交流も期待できます。社会人の方と話をすることが不慣れな学生にとって卒業生から貴重な情報を得られる絶好の機会になります。

2019年度は、「奨学金の充実」「施設・設備の充実」「課外活動への支援」の用途区分で募金活動を行い、1,030件、64,852,656円(内ご父母296件、4,947,000円)のご寄付を賜りました。

このたびは、学校法人東京電機大学が設置する大学院、大学、高等学校、中学校に在学するご父母の皆様をはじめ、卒業生、役員・教職員、元教職員や一般賛同者の個人、団体、法人から、温かいご支援を賜わり心から厚く御礼を申し上げます。

また、今年度においては、学生・生徒が新型コロナウイルス感染症に係る影響を受け、家計の急変や学生のアル

バイト収入の減少などの経済的困窮により、休学・退学等、学業の継続を諦めてしまうということがないよう、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援金」へのご寄付を実施しております。

引き続き皆様のご支援・お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

サポート募金を原資として実施した各事業につきまして、以下のとおりご紹介させていただきます。

学校法人東京電機大学 理事長
 学校法人東京電機大学サポート募金委員会委員長
 石塚 昌昭

1. 東京千住キャンパス5号館「ものづくりセンター」活動報告

東京千住キャンパス5号館竣工(2017年4月)と同時に「ものづくりセンター千住」を開設いたしました。「教育」「研究」「社会貢献」を目的とした、東京電機大学の建学の精神「実学尊重」を具現化する最新施設です。安全講習・加工講習など、各種講習会の開催やプロのスキル・豊富な知識を有する技術員による技術相談の実施を通じ、学生の技術的思考の涵養・学生主体のものづくりを支援するための教育を推進しています。

2019年度は、利用者の多い3Dプリンタ、利用者の声を反映しプラスト機・画像測定機等の機械装置を購入いたしました。また、地域連携活動として、足立区の小学4年生を対象とした「ものづくり教室」を開催いたしました。

今後も最新鋭の測定装置等を導入し、センターの充実を図るとともに、地域と連携した取り組みを行ってまいります。

ものづくり教室の様子



2. 奨学金の充実

(1) 大学

2016年度からサポート募金を原資とした「学生サポート給付奨学金」を開始いたしました。

本奨学金は、家計急変により学費の支弁が困難な修学意欲のある学部生に対し、在学中1回に限り25万円を給付いたします。

なお、採用された学生は、大学主催の学生行事に「学生ボランティアスタッフ」としての参加が義務づけられていることが特色です。2019年度は、5名の学生に奨学金を給付いたしました。2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響を受け、家計が急変した学生の支援を積極的に行ってまいります。

奨学金受給学生からの感謝の声

- 将来を見据えた勉強に励む時間を得ることで、将来の夢へと近づく手助けをしていただきました。ありがとうございました。
- 台風被害により、自宅の修繕費用が掛かるなか、本奨学金を学費の一部に充てることで、無事に卒業することができました。ありがとうございました。

(2) 中学・高等学校

「学校生活支援奨学金」として、人物・学業ともに優秀であるにもかかわらず、家計急変などの事情により、本校での修学が困難な生徒の学費以外の費用を支援いたします。2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響を受け、家計が急変した生徒の支援を積極的に行ってまいります。

3. 東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学金

神山治貴様(本学卒業生)からのご厚志を原資とし、「東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム」を2015年度から開始いたしました。

本プログラムは、本学の学部在学中で学長賞の受賞者のうち、学部在学中に英語圏の大学等に海外留学(単位取得)を希望する者の中から選考し、優秀でグローバルな人材を育成することを目的としております。

2019年度は、5名の学生がアメリカのアーカンソー州州立大学、フェアモント州立大学、ハワイ州立大学ヒロ校、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校に留学いたしました。

●「2019年度東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム」留学生からの報告

アーカンソーテック州立大学での留学

国際色が豊かであることもあり、友人との交流や校内イベントを通して文化や考え方、価値観の違いに触れることができ、英語を学習することの楽しさを再認識することができました。今後は、留学中に培った英語力を落とさないことに軸をおいて語学学習に励みたいと思います。



フェアモント州立大学での留学

コミュニケーションの楽しさ、難しさ、重要さを改めて知ることができました。今後は、留学中に学んだプログラミングの知識を活かし、語学学習者が日常会話を習得できる会話システムの設計・評価を行いたいと考えています。



ハワイ州立大学ヒロ校での留学

学習や生活において、「外国人と臆することなく話そうとする度胸」が必要であるということを知りました。今後は、ハワイで培った英会話スキルを劣化させないよう新たに英会話を習い、さらにコミュニケーション能力を高め、国際学会にも挑戦したいと思います。



カリフォルニア州立大学ロングビーチ校での留学

アメリカのコンピューターサイエンスが発展しているのは、大学時代の勉強量に圧倒的な差があることがわかりました。今後は、留学で得たアメリカの知見と語学力を活用し、海外派遣留学生のためにアドバイスや情報提供を通じて留学派遣生の増加に貢献したいです。



4. 東京電機大学深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金

初代電機第一工業学校長などを歴任された故波多諄三先生のご息女 故深井綾様からのご厚志を原資とし、「東京電機大学 深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金制度」を2018年度から開始いたしました。

本制度は、大学院に在学する女子学生に対して奨学金を給付し、将来、研究者・技術者として社会で活躍できる人材育成を目的としております。

なお、採用された学生は、大学行事(オープンキャンパス等)に「学生ボランティアスタッフ」として協力することが特色です。

2019年度は、56名の学生に奨学金を給付いたしました。

5. 東京電機大学中学校・高等学校深井綾教育研修特別奨学金

故深井綾様からのご厚志を原資とし、「東京電機大学中学校・高等学校 深井綾教育研修特別奨学金制度」を2018年度から開始いたしました。

本制度は、中学校・高等学校に在学する生徒のチャレンジ精神に火をつけ、国内研修および国外研修に積極的に参加することを目的としております。

2019年度は、シアトルホームステイ(26名)、カンボジアボランティアツアー(10名)、陸前高田スタディツアー(14名)、ニュージーランド長期留学(1名)、カナダ短期留学(5名)の参加者56名に対し、奨学金を給付いたしました。

6. 施設・設備の充実

(1) 東京千住キャンパス

健康増進法の一部改正及び東京都条例を踏まえ、キャンパス内にある喫煙室を学生ラウンジに改修し、飲食用のスペースを拡充いたしました。



飲食用スペースの拡充

(2) 埼玉鳩山キャンパス

年々増加しているスクールバスを利用する学生の利便性を高めるため、本館前広場のバス停屋根を増設いたしました。



本館前広場のバス停屋根増設

(3)東京小金井キャンパス

中学校・高等学校では、学修環境の充実を図るため、英会話教室のネスティングチェアおよび休憩用ベンチを購入いたしました。



英会話教室



休憩用ベンチ

7.課外活動への支援

課外活動への支援として、次の43団体に対してご寄付をいただきました。

(1)東京千住キャンパス(13団体)

- アマチュア無線部 ●IDCロボコン ●空手道部
- 管弦楽部 ●グリークラブ ●剣道部
- コーストジャズオーケストラ ●合同体育祭
- 自動制御研究部 ●吹奏楽部 ●ソフトウェア研究部
- 卓球部 ●鉄道研究部

★2つの学生団体よりサポート募金の使用用途の報告

グリークラブ（東京千住キャンパス）

男性18名、女性2名で構成する混声合唱サークルです。入学式での校歌合唱、福島県いわき市の復興支援を兼ねた演奏旅行、老人ホームでのボランティアミニコンサートなど学内外で活動をしています。

今回のサポート募金は、福島県いわき市の復興支援を兼ねた演奏旅行等に充てる予定です。



(2)埼玉鳩山キャンパス(9団体)

- eスポーツ同好会 ●硬式庭球部 ●軽登山部
- JAZZ研究会部 ●TDUスペースプロジェクト
- ヒューマノイド研究部 ●放送委員会
- 理工学部軽音楽同好会 ●理工学部体育会

(3)東京小金井キャンパス(21団体)

- 科学部 ●硬式テニス部(中学)
- ゴルフ部 ●コンピューター部
- サッカー部(高校) ●サッカー部(中学)
- 少林寺拳法 ●柔道部
- 女子バレーボール部(中学) ●将棋クラブ
- 水泳部 ●吹奏楽部 ●卓球部
- 鉄道研究部 ●バドミントン部 ●放送部
- 漫画美術同好会 ●無線部 ●ラグビー部
- 歴史研究部 ●野球部(高校)

8.その他の事業に対する寄付(2019年度)

- (1) ME(生体医工学)講座の推進
- (2) 健康相談室に対する支援
- (3) 工学部第二部の教育・研究に対する支援
- (4) 産学連携・社会連携事業に対する支援
- (5) 東京千住キャンパスの研究、設備の充実
- (6) グランドピアノの購入
- (7) 未来科学部 情報メディア学科の施設・設備の充実
- (8) ものづくりセンターの施設・設備の充実
- (9) 留学生に対する支援



Formula SAE Project (埼玉鳩山キャンパス)

「世界で活躍できるエンジニアになる」を活動理念とし、14名で活動しています。2019年度は、12月5日～8日にかけて、オーストラリアのWinton Motor Racewayというサーキットにて開催された「2019 Formula SAE Australasia」に参戦し、コスト審査賞を受賞いたしました。

今回のサポート募金は、大会遠征費および車両開発費に充てる予定です。



TDU こころとからだのサポート 24

東京電機大学では、学生ひとりひとりが健康で安心した学生生活を過ごすことが出来るように、**本学学生と保証人の皆さまを対象**とした「TDUこころとからだのサポート24」をご用意しています。

24時間電話健康相談サービス

- 熱が下がらない。どうしたらいいんだろう？
- スポーツの最中に怪我をした。応急手当の方法を教えてください。
- 夜間 / 休日などに受診できる医療機関を教えてください。
- 自分の体臭が気になる。
- 就学意欲がわかず、無気力だ。
- 人間関係で悩んでおり、精神的にまいっている。
- 自分に自信がもてない。
- 健康相談、医療相談 など。

 **0120-304-210**

受付時間 24 時間・年中無休・相談無料

ご利用に際して
※学生ご本人と保証人の方々がサービスをご利用になれます。
※国外の相談および国外からの相談等はお受けできません。
※携帯電話からもご利用になれます。
※匿名でもご利用になれます。



メンタルヘルスの カウンセリングサービス

- 大学に馴染めない。学校へ行きたくない。
- 授業に集中できない。
- 友だちと上手くコミュニケーションがとれない。
- 気になることが頭から離れなくてなかなか寝つけない。
- 夜中や早朝に目が覚めてしまい熟睡した感じがしない。
- 元気がない友人がいて心配だ。どう接したらいいんだろう。
- 環境が変わってから何となく落ち着かない。

 **0120-304-210**

<https://t-pec.jp/websoudan/>

- ユーザー名：webhotline3c
- パスワード：shien5g

受付時間

- **カウンセリング受付** (相談無料)
電話：9:00 ~ 22:00 (年中無休)
WEB：24 時間・年中無休 (返信は数日を要します)
- **面談カウンセリング受付** (年間5回迄無料)
電話：月～金 9:00 ~ 21:00
土曜 9:00 ~ 16:00
(日曜・祝日・12/31 ~ 1/3 を除く)
WEB：24 時間・年中無休
(受付後、日程調整のお電話をさせていただきます)

ご利用に際して
※学生ご本人と保証人の方々がサービスをご利用になれます。
※国外の相談および国外からの相談等はお受けできません。
※その他、ご利用に際しての諸条件がございます。お電話にてお気軽にお問い合わせください。

<各事務部学生厚生担当から保証人様へのお願い>

【新型コロナウイルスに便乗した悪質商法について】

SNSで、友人や知人などから「自営していることにして申請すれば持続化給付金がもらえる」、「事業主でなくても持続化給付金を受給可能」と誘われたという相談が、全国の消費生活センターに寄せられています。持続化給付金は事業者(個人事業者も含む)に対して支払われるものです。事業を行っておらず、受給資格がない学生が、自身を事業者と偽って申請をすることは犯罪行為(詐欺罪)にあたる考えられます。

誘いに乗った消費者自身も罪に問われる可能性が高いです。たとえ友人からの誘いであっても、きっぱりと断るように注意喚起をお願いいたします。

【自然災害における人的被害・家屋被害にあわれた方へ】

自然災害の被災状況の確認を行っております。被災された際(家屋の被害等含む)には、所属する学部・研究科の学生厚生担当へご連絡いただきたく、お願いいたします。

メールマガジン登録方法

後援会では、年3回の『学苑』の発行に加え、サービス向上を目指し、ご父母の皆様へ向けたメールマガジンを配信しております。

メールマガジンでは、『学苑』でお伝えできなかった情報や緊急連絡など、様々な情報を時期を問わず随時配信してまいりたいと考えております。

【ご注意】

携帯電話のアドレスをご登録・ご利用の場合、メールマガジンが配信されない場合があります。事前にメールが受信できるようにドメイン受信設定変更をお願いいたします。

▶ tdumm@scplpa.jp

その他詳しくは後援会ホームページもあわせてご確認ください。

■空メールを使った登録

1. パソコンや携帯電話のメールを利用し以下のアドレスに空メールを送信します。

tdumm@scplpa.jp

2. 返信されたメールを受信し、表示された URL に接続します。

3. 表示された利用規約をご確認いただきます。

- [同意します] をクリックしなければ次の画面に進めません。
- 登録をやめる場合は画面を閉じてください。

4. 個人情報の入力を行っていただきます。

- メールアドレス等入力間違いがないようご注意ください。
- 「学籍番号」は学苑をお送りした際の宛名ラベルに記載のある7ケタの英数字です。
(例：00XX000)

- 全ての項目の入力が終了したら [確認] ボタンをクリックしてください。

5. 入力した内容を確認していただきます。

- 間違いが無ければ [この内容で登録します] をクリックしてください。
- 修正がある場合は前の画面に戻って入力しなおしてください。

6. 登録完了の画面が表示されます。

7. 登録されたメールアドレス宛に登録完了メールが配信されます。

■ホームページを使った登録

1. パソコンや携帯電話のブラウザを利用し下記 URL を入力してください。

<https://www.umcnavi.jp/tdu/mm/>

2. 以下、空メールを使った登録の手順 3. 以降に従い登録してください。

■QRコードを使った登録

1. 携帯電話のカメラを起動します。

2. メニュー（もしくは機能）からバーコードリーダー（もしくはQRコード認証）を選択してください。



3. 右のQRコードを撮影します。

4. 表示された URL に接続します。

5. 以下、空メールを使った登録の手順 3. 以降に従い登録してください。

大学の事務取扱は、その内容により担当部署が分かれています。お問い合わせなどは下記の部署にご連絡ください。

学業関係 授業、試験、成績など

●工、工2、未来、システム、情環	東京千住キャンパス事務部（教務担当）	03-5284-5333
●理工	理工学部事務部（教務担当）	049-296-0430

学生生活関係、奨学金、クラブ活動など

●工、工2、未来、システム、情環	東京千住キャンパス事務部（学生厚生担当）	03-5284-5340
●理工	理工学部事務部（学生厚生担当）	049-296-0496

就職関係 就職、アルバイトなど

●工、工2、未来、システム、情環	学生支援センター（キャリア支援・就職担当）	03-5284-5344
●理工	理工学部事務部（学生厚生担当）	049-296-0489

進学関係 大学院進学、学部の転部、編入学など

●全学部	入試センター	03-5284-5151
------	--------	--------------

学費関係 授業料、手数料など

●全学部	経理部（会計担当）	03-5284-5131
------	-----------	--------------

国際交流関係 留学生、短期海外英語研修など

●全学部	国際センター	03-5284-5208
------	--------	--------------

後援会関係 父母懇談会など

●全学部	後援会事務局（東京千住キャンパス事務部）	03-5284-5340
------	----------------------	--------------

※工=工学部、工2=工学部第二部、
理工=理工学部、情環=情報環境学部、未来=未来科学部
システム=システムデザイン工学部

後援会へのご意見はこちらへ

後援会では、東京電機大学がより良い大学となるよう活動を展開したいと考えております。

つきましては、ご子女を通学させる中で、日頃感じている問題点や要望など、率直なご意見をお聞かせ下されば幸いです。

メール gs_kouenkai@jim.dendai.ac.jp

電話 03-5284-5340

『学苑』第157号 (非売品)

2020年11月発行

発行 東京電機大学後援会

発行者 黒沢 秀徳

印刷 東京アート紙行株式会社

東京電機大学後援会事務局

(東京千住キャンパス事務部 (学生厚生担当))

Tel: 03-5284-5340 Fax: 03-5284-5391

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

http://www.soe.dendai.ac.jp/gakusei/G_supporter_association/supporter_association.html